本当にチャンスだったので落ち着いて蹴ることができましたし、チームとして得点が欲しい中で、セットプレーで取れたので、本当によかったと思いますけど、最後に失点してしまったのでそこを本当に気持ちでどうにかかき出せるくらいの闘魂を注入できるように誰かリーダーを取って、僕もピッチに居られたらよかったんですけど、出てしまった中であのきつい時間帯でまた誰かがパワーを出せるようになれば何とか凌げたのかなと思います。このままズルズル行くわけにもいかないので、この引き分けで一歩踏み出したとして、どんどんどんどんのぼって行けるようにまたトライしたいなと思います。

Q:得点シーン以外でもチームに勢いをつけた印象ですが

A:復帰してからは常に前にかけていこうと思い、今まで足りなかったことは前にかける力だったり。みんな100％は出しているんですけど更にもうちょっと出せるように、もうひと踏ん張り、ふた踏ん張り出そうということを練習からやってきた中で、前線からシュートに行く形を持っていきたかったですし、勢いを持ってプレスをかけることによってチームのエンジンがいい感じで吹かせれば長く続きますし、ふわっと入るよりはガッと入る方がいいゲームが作れるので、それができたことができたのは良かったですし。復帰でただ単に90分やるというよりもまずはできるところまで全力でやって、次の選手にバトン渡して頑張ってもらうという気持ちでしたし、本当にそうでしたけど、そこでしっかり守るか追加点を取るというチャンスはあったと思いますし、結構攻められて、いつかやられるだろうなというゲームでしたけど、見てみればコーナーあったりセットプレーあったりチャンス

というチャンスはあったので、そこを決めてしまえばもう少し楽でしたし、そこはまだ力が無いのでつけていきたいなと思います。

Q:九州のチームで北九州だけが試合を行いました

A:北九州でさえなかなか寝れない日々が続きましたし、携帯がなったり揺れがあったりして大変だったと思いますけど、もっと大変な人たちもいらっしゃったし。その中でサッカーの試合をすることに賛否両論あると思いますけど、やるからには僕たちは勇気を与えたいと思いますし、そんな中でもいいプレーをして、いいプレーを見て勇気をもっと欲しいですし、本当にやるしかないですし、たくさんの人に力を与えられたリ、本当に大変な人はスポーツを観てる時間もないかもしれませんが、少しでも力を上げれたり、何か手助けができればと思い、僕たちは戦いましたし、熊本、大分は特に大変ですが、福岡も揺れますし、その中で九州の代表として戦っていて本当に勝ちたかったですけど、それを僕たちもまた胸に刻んで頑張っていきたいと思いますし、練習をしっかりやって勝つことがみんなの勇気につながりますし、力になりますし、応援してくれている人というのはそういうのを見て元気になりますし、続けていきたいなと思います。

Q:原選手の推進力、自分の役割について

A:守備をすることに対してそんなにマイナスなことを感じないですし、守備をするからこそチャンスも増えますし、ディフェンスにべったりくっつかれなくて自由な所でできるので、それは戦術であって守備ばっかりしているから攻撃ができないわけではなく、攻撃はできているのでその中でいかにチャンスを増やしてゴールを取れるかを続けて行きたいと思います。